

## 第4回東久留米市第5次長期総合計画後期基本計画推進委員会 会議要録

【日時】令和8年1月19日(月)18時30分～19時39分

【場所】701会議室

【出席者(敬称略)】

委員：奥真美、渋井信和、伊藤成美、斎藤利之、松本誠一、大谷詩織

事務局：企画経営室長(長澤)、企画調整課長(佐藤)、同主査(永井)、同担当(北爪・横田)

### ◆次第

---

1. 開会

2. 議題

(1)東久留米市第5次長期総合計画後期基本計画(案)(第一稿)について

3. その他

4. 閉会

### ◆資料

---

【資料1】パブリックコメントと市の考え方(案)

【資料2】東久留米市第5次長期総合計画後期基本計画(案)(第一稿)

【参考資料】第3回後期基本計画推進委員会意見(抜粋・要約版)

### ◆議事録(要点)

---

1. 開会

◇事務局より説明・確認

【奥会長】

本日はご多用のところ、本委員会にご出席いただき感謝申し上げます。委員全員が出席しており、定足数を満たしていることから会議は成立しています。事務局より案内をお願いします。

【企画調整課長】

「会議公開に関する指針」に基づき、会議は原則公開とする。会議録は要点筆記とし、委員にご確認いただいた上で、会議資料とともにホームページにて公表させていただきます。

【奥会長】

会議録に記載する発言者名の表記について、異論が無いようであれば、これまでの議事録のとおりに苗字を記載する形とする。

【全委員】

異論なし。

[奥会長]

それでは、事務局においてはこれまでと同様、とりまとめをお願いしたい。傍聴の方はいらっしゃるか。

[企画調整課長]

現時点で傍聴希望の方はいらっしゃらないが、会議途中で来られた場合、入室いただいてもいいか。

[奥会長]

承知した。事務局においては必要な対応をお願いしたい。

## 2. 議題

### (1) 東久留米市第5次長期総合計画後期基本計画(案)(第一稿)について

◇事務局より、配布した資料に沿って説明。

[渋井副会長]

計画の最終決定に向けて意見を申し上げる。先日、東京都庁の第一庁舎1階にある東京観光情報センターへ行ったが、都内市区町村が観光マップや自治体が誇る施設のパンフレットなどを並べていた中で、東久留米市の情報がほとんどなかった。計画案の25、26ページを見ると、来街者増加に向けた取り組みについて書かれているが、前期基本計画に記載されている効果的な情報発信による誘客促進という表現などと比べると、少し具体性や強さが足りないのではないか。東久留米市には竹林公園や湧水、黒目川、落合川など誇れるスポットが多数ある。これらを観光資源として対外的に強く発信することを計画に明記し、観光マップの作成など具体的な取り組みに繋げていただきたい。

[奥会長]

現在は「地域資源」という言葉が使われているが、ご指摘を踏まえ「観光資源」という言葉を使った方が良いか、事務局にて改めて検討するようお願いしたい。

[渋井副会長]

市役所内の組織体制について調べたところ、観光を所管する部署がないように見受けられた。

[企画経営室長]

おっしゃるとおり、現在、本市には観光行政を所管する部署がなく、シティプロモーションについても明確な担当が定まっていない弱みがある。企画調整課と産業政策課を中心に、本市をよりアピールできるような書きぶりを検討したい。

[渋井副会長]

友人に東久留米市に住んでいると言うと、「竹林公園や湧水が素晴らしいと聞くので一度行ってみたい」とよく言われるが、いざ案内しようとするとき情報発信の弱さを感じる。ぜひ計画に盛り込んでほしい。

[松本委員]

私も以前から同じように感じていた。清瀬市などの近隣市は観光に注力しているが、本市はどこが担当なのか分かりにくい。人手不足は承知しているが、将来的には専門部署の設置も考えるべきではないか。滝山団地などドラマのロケ地になるような資源もあるため、それらを有効活用する仕組みが必要だと考える。

[企画経営室長]

清瀬市では2年前に観光協会が設立され、市のシティプロモーション課と連携しながら進めている。

[企画調整課長]

引き続き他市の動向を注視しながら検討してまいりたい。

[渋井副会長]

市長公約にある道の駅の設置へのチャレンジについて、計画案の中では27ページの「地場産農産物の販売拡大」に該当するのか。

[企画経営室長]

市長任期2期目の公約である道の駅の設置については、1期目の4年間、庁内で研究グループを立ち上げ、設置の可能性を研究してきた。令和10年度末に基本計画を策定すべく、今後コンサルタントを交えてブラッシュアップを図る予定である。まだ正式な基本計画を策定していないため本計画内では具体的に記述していないが、今後ものにぎわい創出の観点から検討を継続していく。

[渋井副会長]

にぎわい創出と関連して、市長公約に掲げている手塚プロダクションとコラボレーションした公園整備について、計画案に記載がないが、今後計画を策定する予定があるのか。

[企画経営室長]

都市公園行政については、単なる緑地やオープンスペースではない有効活用を目指す公園ストックマネジメントの検討を進めている。その一環として、ボール遊びのできる公園の整備のほか、北部地域に手塚プロダクションとコラボレーションした特色ある基幹公園を整備できないかと考えている。現時点では検討段階のため、本計画内での具体的な記載は控えている。

[渋井副会長]

宝塚市のように、市内に記念館が設立されないものかと以前から考えていた。

[企画経営室長]

パーク PFI を取り入れ、オープンスペースに公園施設を設けることにより、北部地域に子育て支援機能が不足しているという課題を解消するほか、手塚プロダクションの事業スペースを設けて営利を公園運営の原資にすることなどを検討している。豊島区立のトキワ荘のレプリカのある公園のように、記念館を訪れる方と公園を訪れる方が相乗効果を生み出す仕組みを創出できないかと考えている。

[斎藤委員]

4点申し上げる。13ページのワードクラウドの説明文について、末尾に「強調や順位を表すものではありません」とあるが、頻度を視覚的に強調するのがワードクラウドの特徴なので、これは不適切だと考える。はじめにポジティブな意味合いの説明をしたあと、ネガティブな内容を併記してはどうか。また、103ページのSDGsについては、前回の推進委員会で指摘したとおり、2030年に達成年限を迎えることを踏まえ、次世代を見据えた考え方への移行準備という視点を反映させてはどうか。そのほか、106ページの名簿の空欄埋めや、120ページ以降の用語集と本文のリンクなど、読者が見やすくなるような工夫をお願いしたい。

[奥会長]

SDGs については参考資料に記載のとおり、事務局で検討しているものと認識している。

[企画調整課長]

ワードクラウドの説明についてはご指摘のとおり修正させていただく。SDGs の先を見据えた内容や、資料の参照しやすさについても、いただいた意見を反映させていきたい。

[奥会長]

2点申し上げる。33ページの図書館サービスの記述で、「市は指定管理者との役割分担により、図書館の安定した運営体制を維持」とあるが、これは「指定管理者制度を活用して安定的な運営を図る」といった、制度を主眼に置いた表現に改めるべきと考える。また、36ページの歴史公文書の記述も、主語と述語が噛み合っていないので、意図が正確に伝わるよう全体を見直してほしい。

[企画調整課長]

指定管理者制度の記述については、ほかの施設との整合性も含め改めて整理する。文章のねじれについても、全体を精査して修正させていただく。

[斎藤委員]

37ページの市民スポーツの振興の中でスポーツ庁の指針に触れていないように、全体をとおしてあえて抽象的にしているのか。一方で、53ページの公共下水道の維持管理の中では具体的な数字が出ている。

[企画経営室長]

公共下水道の水洗化率などは事業目的を意図して記載している。全体としては各個別計画との整合性も関わってくるため、国の指標等は記載していない。

### 3. その他

[奥会長]

事務局から連絡事項があればお願いします。

[事務局]

お気づきの点などがあれば、今週中に事務局までご連絡いただくようお願いしたい。その後、庁内でブラッシュアップを図り、委員の皆様へお示しさせていただく。2月上旬に庁内で決定し、3月の市議会定例で行政報告とさせていただく。対面での委員会は本日が最後となるが、1年半にわたるご尽力に感謝申し上げます。

[奥会長]

各委員からのご指摘を踏まえ、事務局にて最終的な整理をお願いしたい。最後に長澤企画経営室長より挨拶をお願いします。

[企画経営室長]

後期基本計画の策定にあたり、基礎調査報告書の作成から計画案のとりまとめまで、委員の皆様より貴重なご意見やご助言を賜り、御礼申し上げます。本委員会は、従来の庁内での検討に加え、「コロナ禍」という未曾有の事態が市の施策や地域に与えた影響について、幅広い視点からご意見をいただくために設置したものであり、忌憚のない意見が寄せられた。本計画では、委員及び市民の皆様からいただいたご意見を参考に、目標達成に向けて創意工夫のもと取り組んでいく。本市は、暮らしやすさや住み心地の良さといった強みを有する一方、2070年の

市制施行100周年を見据え、持続的なまち、さらに発展できるまちに向けて、現行の強みを維持しつつ新たな付加価値を創出することが必要である。今後は、新しいまちづくりのもと、人が集い、にぎわいのある、強くしなやかなまちの実現に取り組んでまいりたい。本計画の策定に携わっていただいた委員の皆様に改めて感謝の意を表し、閉会の挨拶とする。

[奥会長]

以上をもって閉会とする。

以上